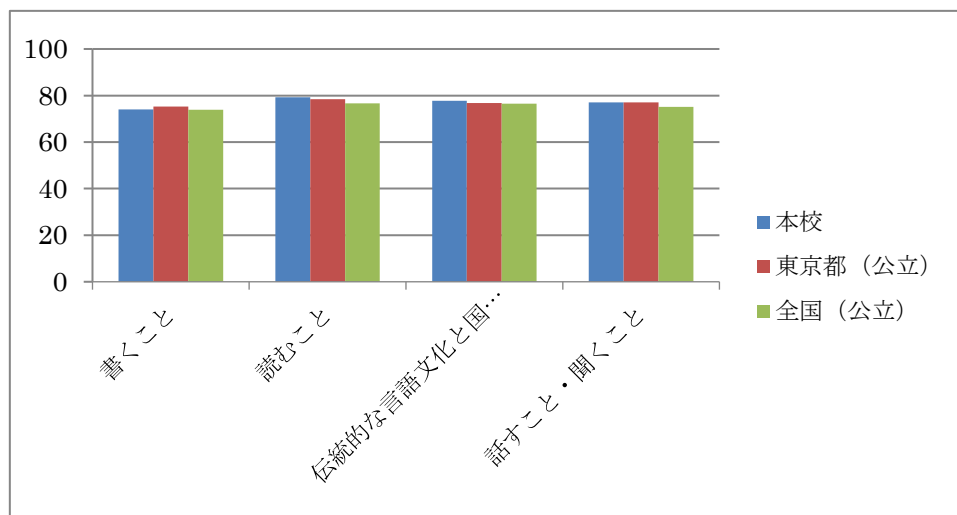


国語（全国学力・学習状況調査）

江戸川区立春江中学校

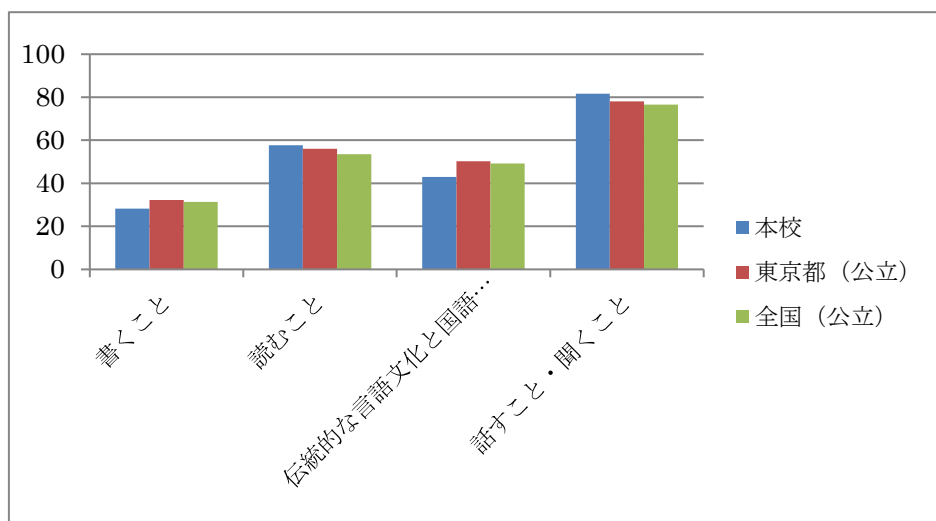
1. 分類ごとの平均正答率

(1) 国語A：主として知識



- ① 「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」「話すこと・聞くこと」は、全国および東京都の平均正答率を上回っている。
- ② 「書くこと」は、全国の平均正答率を上回っているが東京都の平均正答率をやや下回った。

(2) 国語B：主として活用



- ① 「読むこと」「話すこと・聞くこと」は、全国および東京都の平均正答率を上回っている。
- ② 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」「書くこと」が、全国および

東京都の平均正答率をやや下回った。

2. 調査問題から見た課題等

(1) 書くこと

- ① 根拠を明確にして、自分の考えを具体的に書くことに課題がある。

(2) 読むこと

- ① 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解できる。

(3) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- ① 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことについては、課題がある。

(4) 話すこと・聞くこと

- ① 目的に応じて資料を効果的に活用して話すことができる。

3. 指導改善のポイント

(1) 書くこと

- ① 課題作文を授業の中で意識的に取り入れる。
- ② 「学びあい」で共有した他者の価値観を踏まえて文章を書かせる。

(2) 読むこと

- ① 「学びあい」で取り組ませる読解課題の質を上げる。

(3) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- ① 漢字の書き取りを定期テストと連動する形で取り組ませる。
- ② ことわざ、慣用句、故事成語などの言語事項は特別な課題として取り組ませる。また、書写の指導では、楷書と行書のそれぞれの特徴について理解することができるように指導する。

(4) 話すこと・聞くこと

- ① スピーチをする際には、自分の伝えたいことが十分に伝わる内容や表現の仕方になっているかを考えて話すように指導し、発表については相互評価をさせる